



2025年10月31日

各 位

上場会社名 東リ株式会社
代表者 代表取締役社長 永嶋 元博
(コード番号 7971 東証スタンダード市場)
問合せ先責任者 経理財務部長 松本 隆志
(TEL 06-6494-6691)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2025年7月30日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	50,500	800	950	550	9.44
今回修正予想（B）	52,250	1,350	1,700	1,050	18.03
増減額（B-A）	1,750	550	750	500	
増減率（％）	3.5	68.8	78.9	90.9	
（ご参考）前期第2四半期実績 （2025年3月期第2四半期）	47,418	1,012	1,147	689	11.64

2026年3月期通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	109,000	4,400	4,650	3,350	57.51
今回修正予想（B）	111,000	5,100	5,500	4,000	68.67
増減額（B-A）	2,000	700	850	650	
増減率（％）	1.8	15.9	18.3	19.4	
（ご参考）前期実績 （2025年3月期）	105,709	4,376	4,665	3,507	59.62

修正の理由

当第2四半期（中間期）の連結業績につきましては、前期並びに当期発売の新製品を中心とする販促活動に注力した結果、ビニル系床材や壁装材を中心に販売数量が好調に推移し、売上高は前回発表予想を上回る見込みとなりました。また、利益につきましては、増収効果並びに製造原価の低減に加え、一部製品の上代価格改定による販売価格の底上げが進展し、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

通期の業績予想につきましては、米国の通商政策の動向や地政学リスクなど、依然として先行き不透明な経営環境が続くと予想されます。そのような中、第3四半期以降も高付加価値製品を中心とする拡販を目指し、第2四半期連結業績予想の修正を踏まえて上方修正いたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2025年7月30日発表)	—	10.00	—	19.00	29.00
今回修正予想	—	10.00	—	22.00	32.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2025年3月期)	—	5.00	—	16.00	21.00

修正の理由

2026年3月期をスタートとする中期経営計画「SHINKA Plus ONE 2.0」期間中の株主配当につきましては、連結配当性向50%、又はD0E3.5%を目安に安定的な配当を継続的に実施することとし、年間配当は19円を下限とする方針としております。

上記の基本方針及び今回の業績予想修正等を踏まえ、2026年3月期の期末配当金につきましては、前回予想から3円増配となる1株当たり22円に修正いたします。なお、1株当たり年間配当金は、中間配当金10円（予想）を合わせた1株当たり32円となる予定です。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上